

平成21年
第5回市議会(臨時会)

会期7月17日

会期中に工事契約議案3件(原案可決)の審議をしました。
議案の概要は次のとおりです。

総務文教委員会に付託された議案

○工事請負契約の締結について(大竹小学校改築工事(建築主体工事))

請負金額 12億3千165万円

請負者 三井住友建設株式会社
島支店

株式会社鴻治組

株式会社三洋技建

○工事請負契約の締結について(大竹小学校改築工事(電気設備工事))

請負金額 1億3千345万5千円

請負者 三菱レイヨン・エンジン

アリング株式会社大竹事業所

○工事請負契約の締結について(大竹小学校改築工事(機械設備工事))

請負金額 1億4千490万円

請負者 株式会社三晃空調中国支店

※ 予定価格1億5千万円以上の工事又は製造の請負は、議会の議決に付すべき契約となつています。

今回の工事契約議案3件についても予定価格が1億5千万円以上であったため、議会の議決が必要となりました。

全ての議案について討論はなく、採決の結果3議案は原案のとおり可決



本会議へ

本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決



大竹小学校完成予想図

平成21年
第6回市議会(定例会)

会期9月2日、17日

会期中に議会人事案件ほか、決算3件(認定)、補正予算案3件(原案可決)、人事案件3件(原案同意)、条例案1件(原案可決)、請願1件(採択)、決議案1件(原案可決)、その他2件の議案の審議をしました。
審議の概要は次のとおりです。

総務文教委員会に付託された議案

○平成21年度大竹市一般会計補正予算(第3号)

1億7千144万円増額

Q ゆうあいの里空調設備改修工事が、再編交付金361万1千円と一般財源5千638万9千円となっているが、多額の一般財源を投入するならば当初予算するべきではなかったのか。

A 当初、再編交付金は、大竹小学校改築事業に充当する予定であったが、学校への補助金が増えたため、この改修工事へ充てたもので、一般財源の持ち出しという形にはなっていないが、今後、他の再編交付金充当事業の執行残での調整を考えている。

Q 「緊急雇用対策に要する経費」での雇用人数及び事業内容について問う。

A 雇用人数は、6月の補正で14名、9月の補正で17名を予定しているが、次の就職までのつなぎであるため、6カ月程度の短期雇用となっている。

9月補正の事業内容は、学校安全確保及び教育環境整備推進事業、小学校栄養・衛生指導推進事業、市営墓地周辺雑木等除去事業、公害防止パトロール事業、晴海臨海公園不法投棄等対策事業、閉所保育所環境整備事業の6事業となっている。

Q 「健康増進事業に要する経費」のがん検診について問う。

A 該当者は、大竹市内、岩国市内、廿日市市内において平成22年3月31日まで、受診ができる。広島市での受診は現時点ではできないが、大竹市が定める委託単価で、広島市の医療機関と契約を締結できれば、受診が可能となる。

Q 青少年育成市民会議の太鼓購入補助金の流れについて問う。

A 宝くじの受託事業収入を財源として補助金を交付している財団法人自治総合センターからの助成制度の

募集に対しての情報提供を市内各団体にむけて大竹市が行い、青少年育成市民会議が申請をした。

当該補助金は自治総合センターから大竹市を経由して団体に交付することになっている。

Q 「産科医確保支援事業負担金」の大竹市の負担割合の算出方法、また効果について問う。

A 負担金の目的は、広島西二次保健医療圏における産科医療体制の維持に資するため、圏内の中核病院として産科医療を担うJ A広島総合病院に対して、分娩を取り扱う医師に直接届く支援とし、支給する手当を国が6分の2、県が6分の1補助をし、残りの6分の3のうち、6分の1分を分娩数割合の按分により廿日市市、大竹市が補助する。

効果に関しては、分娩の医療体制確保が望める。

○広島県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増減及び組織規約の変更について

全ての議案について討論はなく、採決の結果2議案は原案のとおり可決



本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決

生活環境委員会に付託された議案

○大竹市国民健康保険条例の一部改正について

Q 出産育児一時金の4万円引き上げ部分の財源の手当とその負担割合について問う。

A 財源は、現在、当初予算がある中で、当面これに対応する。

また、負担割合については、増額となる4万円部分の2分の1を国庫補助金で、残りの2万円を一般会計繰入金で3分の2、保険料負担部分で3分の1を賄うことになる。

委員会での討論

賛成

「この制度は、期限付きの制度となっているが、問題は継続することにある。市独自でも、制度の維持、保障ができるよう考えてほしい。」

○平成21年度大竹市老人保健特別会計補正予算(第1号)

○平成21年度大竹市介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q 介護認定の見直しがされて、介護度が軽度に変更され生活に負担が大きくなった実態がある。加入者の便宜を図る必要があるのではないかと考えているが、今回の補正に反映されているのか。また、見直しによる介護度の状況を数字で示してほしい。

A 今回の補正に、認定の変更等による反映はされていない。

国の調査では、非該当が増え軽度に認定される傾向にあるが、全国的に調査項目によってばらつきがみられる。この是正をするため、10月に調査項目の改正があるように聞いている。

○平成20年度大竹市水道事業会計決算の認定について

○平成20年度大竹市工業用水道事業会計決算の認定について

○平成20年度大竹市公共下水道事業会計決算の認定について

Q 監査委員の意見書で問題視され

ている工業用水道事業の原価割れの部分について、もう少し踏み込んだ見解を聞きたい。

また、工業用水道事業の赤字を解消するため独自に値上げ等できないのか考え方を問う。

A 監査委員としては、採算が取れるような単価が望ましいと考えており、改善を要望している。そのためにも販売水量が計画水量に達するよう販売努力をお願いしている。

1期と2期を統合して、新たな形に整理すれば第1期工業用水道の料金を、企業との話し合いで変えられないことはないと考えている。

Q 大竹市の水道水は、自己水だけで配水可能と考えられる。供給単価の高い県用水を受水していることに對して、協議するなど取り組みをしているのか。

A 最大2万トンの給水をすることで上水道事業の認可を得ており、自己水だけではこの数字に達しないので、県用水を受水している。これについては県とも協議をしており、3年度は5千950トンまで下げてもらっている。19年度と比較して使用料は1千300万円減少している。

Q 最近集中豪雨が多発しており、想定雨量を超え冠水するケースが見受けられるが対策を問う。

A 合流地域からの汚水が、降雨によって一度に集中して流入することを防ぐため滞水池の整備を進めている。また、小島潮遊池の排水ポンプの改築更新で排水能力を向上させるなど、浸水被害をなくする取り組みをしている。

委員会での討論

賛成

「工業用水に対して監査委員の要望の実現と新町地区の早期の雨水対策を望む。」

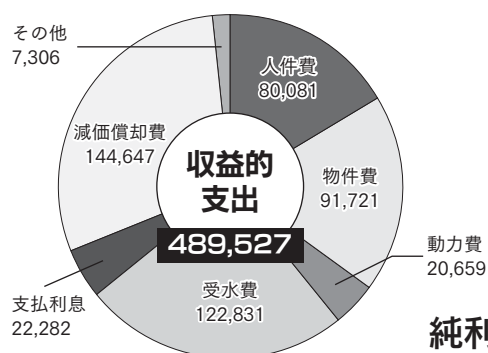
採決の結果6議案は原案のとおり可決及び認定



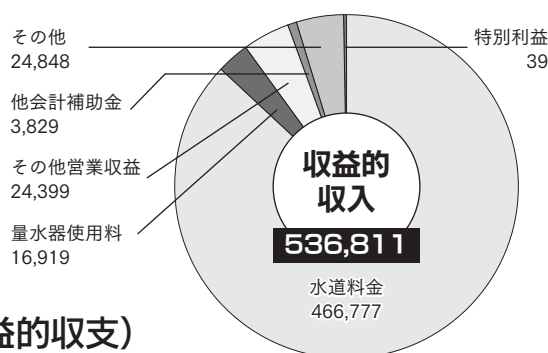
本会議で質疑・討論はなく
原案のとおり可決及び認定

平成20年度 水道事業会計の収支状況

(単位：千円)



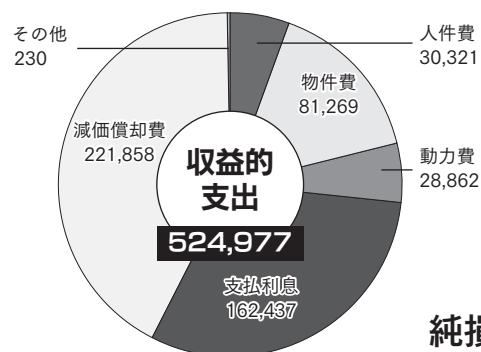
純利益(収益的収支)
47,284千円



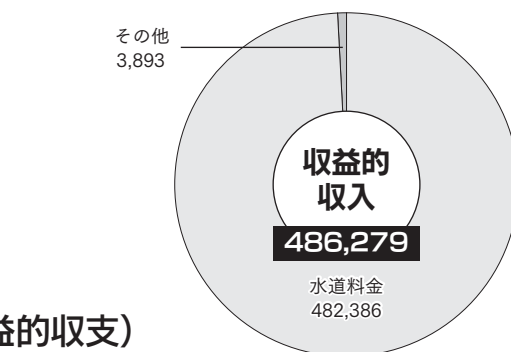
純損失(収益的収支)
38,698千円

平成20年度 工業用水道事業会計の収支状況

(単位：千円)



純利益(収益的収支)
38,527千円



平成20年度 公共下水道事業会計の収支状況

(単位：千円)

